

挨拶

就任挨拶

副会長
長 澤 健 一



日本知的財産協会の会員の皆様、キヤノン株式会社の長澤でございます。この度は、当協会の副会長という大役を拝命し、再度、我が国産業界における知的財産戦略のあり方、我が国における知財行政のあり方等につきまして、皆様と共に考えていきたいと思っていますところです。

私自身、2010年迄、海外赴任していたため、長い間我が国に滞在できなかったこともあり、日本知的財産協会の会員としての会社代表とはなつたものの、当協会の活動にあまり貢献することができていなかったように感じます。むしろ、経団連や日本国際知的財産保護協会を通しての活動において、自国や他国へのパブコメ提出や我が国の知的財産関連法の改正等の場面で、日本知的財産協会の組織力、政治力、発言力を利用して戴いていたように思います。また、当社社員が、日本知的財産協会の各種専門委員会に参加し、当社本部員の人材育成にも利用させていただきました。

我が国の経済的な成長が他国のそれに対して見劣りする昨今において、我が国の産業が更に発展するためには、国内の中小企業やベンチャー企業と大企業とがベクトルを合わせて産業の再構築をする必要があると思います。これら両者がwin-winの関係を築くことこそが、その第一歩であり、互いに補完できる関係を作ること、物流コストや共同作業における地理的なメリットと、それに伴うイノベーションの速度の向上というメリットを享受する上でも、最も重要なことであると思います。日本知的財産協会は、中小企業やベンチャー企業も大企業もその会員であり、我が国産業を長期的に支える企業の知的財産施策や国家戦略の発信の場としてふさわしい協会であると感じております。

そういう意味で、私の長きにわたる内外での知的財産業務の経験から、何らかの貢献ができればと思い、今回の大役を拝命することに致しました。会員の皆様との忌憚のない意見交換に基づき前向きな提言等ができれば幸いです。何卒宜しくお願い致します。